飛躍 2014

京滋の優良企業トップに聞く

桶谷製作所は常に変化し続けます

1967年に創業開始して以来、47年の月日が経過いたしました。その間、数々の波を乗り越えながら、「機械加工は京都に桶谷あり」と言われるようになりました。これも、皆、私ども桶谷製作所を支えて下さいました、お客さま、お取引先さま、地域の皆さまのお陰と感謝しております。桶谷製作所は、常にチャレンジする精神を忘れることなく、今、第二の創業とも言える社内改革を進めております。

お客さまにより良い製品をより早く、より安く、より正確に提供できるよう、もの作りの原点に立ち戻って、誠実に努力する所存です。

そのためにも、思考も行動も、一瞬たりとも停止することなく、常に変化することを追求していきます。

今後も桶谷製作所は飛躍しつづけます。ご期待ください。

株式会社 桶谷製作所　〒601-8203 京都市南区久世築山町 376-7　TEL.075-922-9409　FAX.075-934-7507

URL：http://www.e-oketani.co.jp

桶谷製作所
桶谷 正躬社長

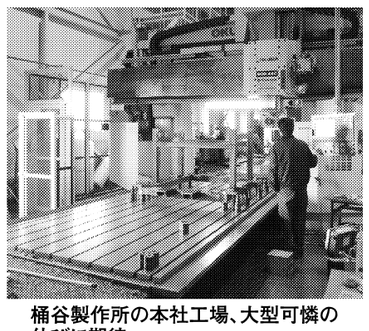
仕事は創り出すもの
共同受注システム「OKネット」始動

―景況感は。

「上向きにあると肌で感じられるようになってきた。スマートホンやタブレット、自動車関連など年末年始の顧客まわりでも、良くなってきたという声を多く聞いた。この機会を逃す手はない。しかしながら、当社は景気に左右される経営を目指しているのではない。景気に左右されるようでは会社はつぶれてしまう。仕事は創りだすもの。かき集めて厳しい時でも成長できる経営を目指している。当社では顧客やさまざまなメディアを活用してマクロやミクロの情報収集に努め、営業創造に余念がない」

―1月に「ものづくりOKネット」の運用がはじまりました。

「インターネットを活用し、大型部品の機械加工などどんな受注にもグループで対応するシステムで、仕事を効率的にかき集める。得意な加工技術など同ネットに参加する企業データとともに、各社の生産設備の空き具合を瞬時に把握。受注内容に応じた体勢が即座に組め、どんな受注にも迅速・的確に対応できることになる。高品質、コスト削減、短納期などの実現、参加企業の仕事確保など経営効率化に役立つ。当面は200社の参加で運用する。



桶谷製作所の本社工場、大型可憐の伸びに期待

たに導入、生産能力を引き上げる」

―グローバル化の検討も始まりました。

「中国や東南アジアをにらみ、以前から海外進出のための情報を収集してきた。上海での展示会出展や、蘇州に設けた連絡事務所などを通じて市場や商慣習などあらゆる情報を収集、進出の機会をうかがってきた。生産や営業など進出形態、進出先や時期などはまだ詰めていないが、いつでも海外進出できる体勢は整っている」

新エネルギー関連（風力発電、太陽光発電向け）の変圧器、ケーブルその他部材ならお任せ下さい

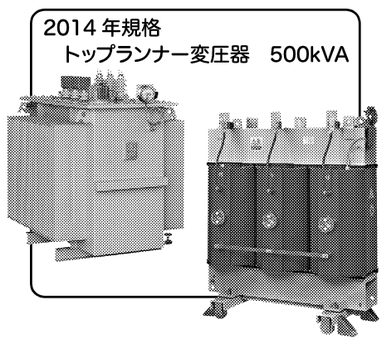
～無駄のない再生可能エネルギーを提案します～

取扱製品

■変圧器
- 国内製・海外製アモルファス変圧器（2014 年トップランナー対応）
- 油入型（植物絶縁油有）
- モールド型（22kV 対応可、6000kVA 以下）

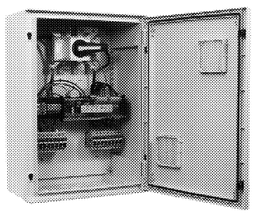
■電線ケーブル
- 600V、6600V CV・CVT・IV・VVF 等各種ケーブル（PSE 認証済）
- 1000V、1500V　PV ケーブル（太陽光関連製品）
- 22kV、60kV　特別高圧ケーブルも対応

■新エネルギー関連
- 太陽光パネル取付架台、単管パイプ（錆びにくい）及びパネル取付金物
- パワコン収納 BOX、Full-CON



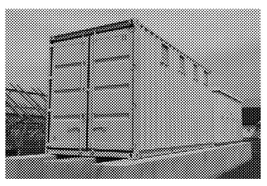
1000V・1500V 対応 PV ケーブル等

接続箱（1000V 対応品）



太陽光用高圧キュービクル

パワコン収納用コンテナ



New Style Technology
株式会社 栄幸　http://www.eikoh-jp.com/
〒612-0026　京都市伏見区深草堀田町 10 番地 1 京阪藤の森ビル事務棟 3 階 TEL:075-647-3266　FAX:075-643-4681

栄幸
服部 正幸社長

アモルファス変圧器を強化
インフラ需要に期待

―酉島電機製作所と提携したアモルファス変圧器を市場投入します。

「2014年度から適用されるトップランナー変圧器2014では、高効率のアモルファス変圧器が、鉄心にケイ素鋼板を使う一般的な変圧器と比べて規格をクリアしやすい。新たに投入するアモルファス変圧器は、すでに大手メーカーのデータセンター用にも採用が決まっている。また変圧器本体だけでなく、アモルファス合金の鉄心も手がけ、変圧器メーカーへ売り込んでいる。これまでアモルファスとケイ素鋼板は変圧器として厳然と分かれていたが、新しいトップランナー規格によって単に効率で使い分けられるようになり、アモルファスも特殊なものではなくなってくる」

―これまでも台湾製のアモルファス変圧器で販売実績がありました。

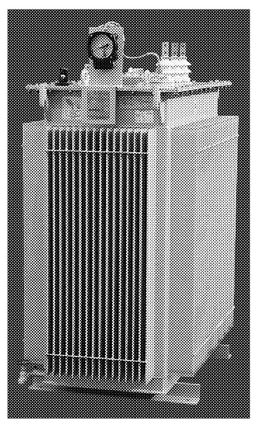
「太陽光発電など新エネルギーの昇圧向けに納入実績を積んできた。従来の変圧器と比べて無負荷損（待機電力）が低いアモルファス変圧器は、夜間や雨天時など稼働できない時間が長い太陽光発電に適している。特に12年度にスタートした全量買取制度によって、発電事業者は少しでも売電量を上げようと、高効率変圧器の導入に目を向け始めた。ただ太陽光発電所の昇圧では扱う電圧がさまざまで、国産の競合品はイレギュラーな電圧になると割高。一方で台湾から輸入する当社は、コストパフォーマンスの高さで評価された」

―なぜ今回、国産を。

太陽光発電所向けの需要はあと2年から3年は堅調だ。しかしその後は、東京五輪を見据えた投資や、トンネルなどの老朽化対策など、インフラ投資がけん引役となっていく。それを視野に入れるのならば、国内メーカーと組んでおく必要がある。インフラではないが、これまでも国産でないという理由で受注できなかったこともあった」

―変圧器以外は。

「変圧器だけでなくトータルなシステムとして提案していきたい。そのためにも関連企業とコラボレーションを組み、自社にはない製品は補っていきたい」

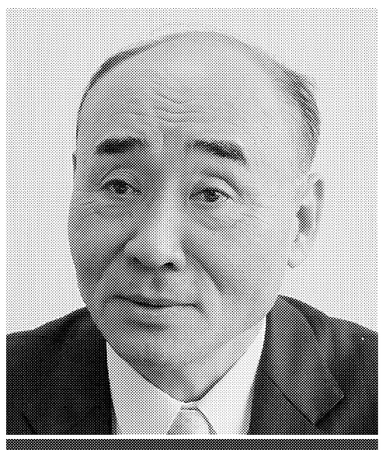


トップランナー変圧器2014にも対応する高効率のアモルファス変圧器

アクアシステム株式会社

みなさまに喜ばれる商品をお届けしたい
その一心で57年…
2014年!進化に深化を重ね
より良い商品を創造する

AQUA SYSTEM CO.,LTD.　アクアシステム株式会社
URL http://www.aqsys.co.jp
〒522-0081　滋賀県彦根市京町1−3−1 K1ビル
TEL：0749-23-9123　FAX：0749-23-9122
E-mail aqua@aqsys.co.jp



アクアシステム
木村 泰始社長

東南アジアに販売網
ネットはBツーB強化

―小型ポンプメーカーとして、どのように存在感を示していきますか。

「身近にお役に立てるポンプメーカーとして、薬品や油などを対象に、大手ではフォローできないところにきっちり対応できる会社でありたい。だから多品種で小ロットの商品で売上高は構成されている。エアプレッシャーポンプと手動ポンプをまだまだ深掘りし、ハンディタイプのポンプでブランド力を高めたい。商品カタログは毎年内容を更新し、8万部作成して配布している。メーカーとして生き残るには、最終ユーザーへの発信力を高めることが必要だ」

―一方で海外展開を積極化しています。

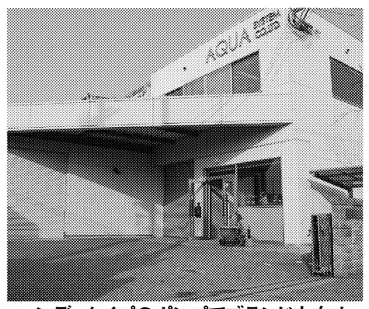
「国内市場が縮小していく中、企業として成長していくには、海外進出は避けられない。そのため今春にタイとベトナムで相次ぎ合弁会社を設立する。インドネシアやマレーシア、シンガポールは代理店を活用し、東南アジアでの販売網を作り上げていく。加えて3月には台湾の展示会、4月にはハノーバー・メッセに出展し、海外市場へアピールしていく」

―中国では2012年にアクア常州を設立し、現地生産を始めました。

「バキュームクリーナーと、一部のエアプレッシャーポンプを生産している。まずは年1億円程度の売上高を目指す。加えてストックヤードとしての役割も持たせ、1月から月2回の定期便で日本に輸送する体制を整えた。当社は小ロットの商品数が多いため、どうしても半年分の台数を一度に生産することになる。これを中国で在庫し、必要な分だけ日本に輸送することでコスト削減につながる。中国市場向けには、現地法人が独自に販売できる体制を整え、そこからロイヤルティー収入を得る形にする」

―ネット販売にも取り組んでいます。

「基本的には代理店販売がメーン。あくまでアンテナショップとして位置づけているが、販売は伸びている。ただ現時点ではBツーCが中心となっているのが現状。海外のネットショップも含めてBツーBの強化を模索している」



ハンディタイプのポンプでブランド力向上（同社工場）